

様

説明日 年 月 日

担当薬剤師

★治療について

レジメン名	1コースの期間	診療科	適応疾患	コース数	コース開始日
EV+Pem21	21日間	泌尿器科	尿路上皮がん	コース目	

★治療スケジュール

以下の治療スケジュールで繰り返し行います。症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

投与順	投与経路	薬品名	投与量 投与時間	実際の 投与量	実施日			
					1	2~7	8	9~21
1	点滴 静注	グラニセトロン (吐き気止め)	3mg/100mL 30分	3mg/100mL	●	-	●	-
2	点滴 静注	パドセブ 生理食塩液50mL	1.25mg/kg 30分	mg	●	-	●	-
3	点滴 静注	キイトルーダ 生理食塩液100mL	200mg/Body 30分	mg	●	-	-	-

★注意事項など

この用紙は、かかりつけ医や保険調剤薬局の薬剤師へご提示ください。

★保険調剤薬局薬剤師の方へ

服薬状況や副作用等報告事項がありましたら、「患者情報連絡書」にて報告をお願いします。

「患者情報連絡書」: 碧南市民病院HP→部門紹介→薬剤部→薬薬連携に掲載 FAX(地域連携室): 0566-46-3774

【緊急時連絡先】碧南市民病院 薬剤部 TEL: 0566-48-5050(代表)

EV+Pem21の副作用について

★起こりやすい副作用と発現時期の目安

これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。また、発現時期には個人差があります。

副作用	発現時期(日)																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
白血球減少																						
貧血																						
血小板減少																						
過敏症																						
皮膚障害																						
高血糖																						
末梢神経障害																						
眼障害																						
インフュージョン・リアクション																						

★起こりやすい副作用と対策

〈血液検査からわかる副作用〉

● 白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

● 貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

● 血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

〈ご自分でわかる副作用〉

● 過敏症

点滴中または点滴後24時間以内にアレルギー症状が起こることがあります。『息苦しい』『胸が苦しい』『心臓がドキドキする』『発疹がでる』『顔がほてる』『汗がでる』『顔や体がかゆい』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

⇒点滴中や点滴後24時間以内にこのような症状が出たら、医師、看護師、薬剤師にすぐに知らせましょう。

● 皮膚障害

発疹、かゆみ、白斑や皮膚色素減少(皮膚が一部白くなる)が現れることがあります。

● 高血糖

血糖値が上昇することがあります。

⇒口が渇く、水分をたくさん飲む、トイレの回数が増える、体重減少などの症状があれば医師や薬剤師へお伝えください。

● 末梢神経障害

治療を開始した直後に、手足がしびれることもあれば、徐々にしびれが出てくる場合もあります。治療を終えても、しびれが回復するまで時間がかかります。

⇒日常生活に支障が出る時は、主治医に相談して下さい。

● 眼障害(ドライアイ、角膜障害)

目が乾燥し、目の表面が傷ついてしまうことがあります。

⇒症状があれば医師や薬剤師に相談してください。目の病気がある方は、定期的に眼科で検査を受けるとよいでしょう。

● インフュージョン・リアクション

投与中から投与後、アレルギーに似た症状が出る場合があります。『寒気』『気分が悪い』『顔や体がかゆい』『息苦しい』『頭痛』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

⇒解熱剤を服用することがあります。2回目以降はほとんどの方で症状が軽くなるので、その後も継続して投与が可能です。

★すぐに連絡をいただきたい副作用

- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。(間質性肺炎)
- ★「繰り返し運動で疲れやすい」、「まぶたが重い」、「足、腕に力が入らない」、「筋肉痛がある」、「ものが二重に見える」、「吐き気がする」、「動悸がする」、「赤褐色尿が出る」(重症筋無力症・心筋炎・筋炎・横紋筋融解症)
- ★「下痢(軟便)あるいは排便回数が増えた」、「便に血が混じる、便が黒い、便に粘り気がある」、「腹痛あるいは腹部の圧痛(押すなど圧迫した時に現れる痛み)がある」、「吐き気や嘔吐がある」(腸炎・重度の下痢)
- ★「体がだるい」、「体重が減る」、「のどが渇く」、「水を多く飲む」、「意識障害」、「尿の量が増える」(1型糖尿病)
- ★「鼻血」、「歯茎の出血」、「血が止まりにくい」、「点状や斑状の皮下出血」、「息切れ、息苦しい」、「体がだるい」、「顔色が悪い」、「かゆみ」、「発熱」、「寒気がする」(重篤な血液障害)
- ★「皮膚や白目が黄色くなる(黄疸)」、「いつもより疲れやすい」(肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎)
- ★「いつもより疲れやすい」、「脱毛」、「体重増加あるいは体重減少」、「寒気がする」、「行動の変化がある(性欲が減る、いらいらする、物忘れしやすいなど)」、「便秘」(甲状腺機能障害)
- ★「運動のまひ」、「感覚のまひ」、「手足のしびれ」、「手足の痛み」(神経障害)
- ★「むくみ」、「尿量が減る、尿が出ない」、「貧血」、「血尿」、「発熱」(腎障害)
- ★「体がだるい」、「意識が薄れる」、「吐き気や嘔吐がある」、「食欲不振」(副腎障害)
- ★「発熱」、「失神」、「嘔吐」、「精神状態の変化がある」、「体の痛み」(脳炎)
- ★「全身に赤い斑点や水ぶくれが出る」、「ひどい口内炎」、「まぶたや眼の充血」、「粘膜のただれ」(重度の皮膚障害)
- ★「腫れ、むくみ」、「皮膚や唇、手足の爪が青紫色～暗褐色になる」(意識の低下、胸の痛み、息苦しい)(静脈血栓塞栓症)

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。碧南市民病院 (代表)0566-48-5050